

2020年11月18日
日本船主協会 海事人材部

東京海洋大学 海洋工学部オープンキャンパスに協力

日本船主協会は、2008年7月に人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2020年11月8日(日)に、東京海洋大学海洋工学部のオープンキャンパスがオンデマンド型で開催され、当協会は広報活動の一環として協力しました。

東京海洋大学海洋工学部は、受験生とその保護者を主対象に、今年度2回目となるオンデマンド形式のオープンキャンパスを開催しました。当協会は同学部卒業生が多く進んでいる海事クラスタの業界団体として、「キャリアコンパス～将来の仕事を見てみよう～」への講演動画の提供および参加者への質問対応をオンラインで行いました。

オープンキャンパス参加者対象に、11月2日～8日の間視聴可能となった講演(動画)では、株式会社商船三井より米田輝希船長が、「将来の就職先となる可能性の高い海運産業のキャリアパスについて」というタイトルでお話しました。

また、8日(日)のライブ相談会では、米田船長および当協会の田中常務理事が、参加者の質問に答えました。参加者からは、「船長になるまでどれくらいのキャリアが必要か」、「船長として大事にしていること」、「船員に求められる資質は何か」などの質問が寄せられ、将来を見据えて進路を考える有意義な情報交換が行われました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



講演を行う米田船長



オンラインで参加者の質問に対応する
米田船長